

道路ってどうやって作るのかなあ？

厚岸町の一般農道整備事業別寒辺牛地区は平成20年度より整備を行ってきています。

本年度の工事で白崎・小野寺・釧石工業経常建設共同企業体が受注した施工箇所は、近くに町立高知小中学校があり、工事中の日頃のご協力に感謝する意味も込めて、児童生徒の皆さんに、道路や作業機械の仕組みを現場で勉強していただけたらと、農村振興課と施工業者で工事現場見学会を開催しました。

9月20日(火)、学校の4時間目の授業に合わせ、児童生徒11名と先生8名の参加者の皆さんは、慣れない手つきで現場用のヘルメットをかぶり、工事関係者から、農道整備の必要性、道路の構造、作業機械の種類と役割の説明を受け、実際に機械が砂利を運び敷均し、転圧する路盤改良工事の一連の作業を、普段は近づくことのできない距離で見ることができました。



工事関係者からの説明を聞く児童生徒の皆さん



タイヤローラーがこんなに近くに！

その後、全ての作業機械を停めて、パワーショベル、ブルドーザ、タイヤローラー、ダンプトラックの運転席に児童生徒の皆さんが代わる代わる乗り込み、機械の大きさや高い運転席からの眺めを体験してもらいました。

写真を撮り合ったり、作業員に機械の仕組みや動かし方を、真剣な眼差しで質問する男子児童もいて、50分程の見学会は無事終了しました。



本当は動かしてみたいね



運転席の児童生徒の皆さんの笑顔が現場の雰囲気を和らげてくれました。

これからも、このような機会を通じ、地域の方々に農業農村整備事業や実際の現場の様子を、ご理解していただけるように考えていきます。